

このメールマガジンは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)主催のイベント等に登録・参加された方にお送りしています。次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

RISTEXでは、研究開発領域「犯罪からの子どもの安全」を設定し、現場で問題解決に取り組む人々と研究者の協働により、防犯対策に科学的な知見や手法を導入するとともに、社会に役立つ効果的で持続的な取り組みとなるよう、多くの関与者に開かれたネットワークをつくり、優れた研究開発プログラムを推進しています。

この領域では、今後、毎月一回程度、研究開発領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を発信していく予定です。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
文部科学省主催「学校支援地域本部キックオフ！研究協議会」  
警察政策フォーラム「これからの性犯罪対策」 他
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ  
トピックス「プロジェクト実施者インタビュー 第1回」
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング  
今月一番注目されたコンテンツとは・・・

◆◆◆◆  
-----  
1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
-----

皆さん、こんにちは！

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が平成19年度に始まってから1年半、温めていたメルマガ企画がついにスタートしました。

このレポートの中では、領域活動の紹介や、領域担当が参加したイベントの感想などを報告しながら、犯罪からの子どもの安全に関する動向をゆるゆるとお伝えしていきたいと思えます。

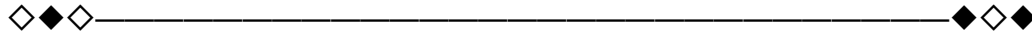
「こんなイベント、世の中の動きがある！」という方は、是非、情報をお寄せください。

さっそく領域の紹介です。先日、平成20年度の採択課題が決定しました。5ヶ月間にわたる募集選考の結果、昨年度採択の4件の研究開発プロジェクトに、新たに4件が加わりました。また、次年度の提案を目指して、プロジェクト企画調査が2件スタートします。採択決定後、早速、領域総括と各研究代表者とで面談を実施。

片山総括からは、「今年は、ネット遊びの場で子どもを守る、意図的な傷害から子どもを守る、計画的なまちづくりによって子どもを犯罪から守る、子どもから正しい情報を引き出す司法面接法の開発によって犯罪から子どもを守る、という4つの研究プロジェクトを採択しました。残念ながら採択には至らなかったプロポーザルの説明をお聞きしていても、犯罪と子どもの間には、私などが予想もできないたくさんの接点があることを思い知らされました。」とのコメント。

犯罪からの子どもの安全に向けて、協力して研究開発を進めていきましょう。

次はイベント参加報告です。秋はさまざまなイベントが開催されますが、領域担当が参加した2つのイベントについてレポートします。



●9月5日(金)開催  
文部科学省主催「学校支援地域本部キックオフ！研究協議会」  
(東京都江東区 パナソニックセンター) 参加レポート

今回のイベントでは、テーマがテーマなだけに教育関係者の参加が多かったようで、会場は開始直後から満席の状態でした。参加者の皆さんの意識がとても高く、壇上の講演者からの突然の質問などにもスムーズに対応していたことが印象的でした。

また、パネルディスカッションでは、研究者、教育委員会、現場の方とさまざまな立場の方がパネリストだったこともあり、多様な視点からの意見が活発に飛び交い、有意義な議論が行われていました。

学校支援地域本部とは、個人的にはあまり聞き慣れない言葉でしたが、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的として、すでに全国で取り組みが行われているそうです。

取り組みの内容は地域によっていろいろで、授業や実験・実習の補助を行う「学習の支援」のほか、この領域とも関係のありそうな登下校時の通学路の安全指導や校内見守りなどを行う活動（安全パトロール）なども含まれており、地域住民がさまざまな形で参画できる仕組みとなっていました。

理想的な支援として挙がっていたのは、学校のニーズに応じた、多様性や対応力かつ継続性があり、見返りを求めない支援というものでしたが、これは、防犯活動にも通ずるものがあると思います。

この支援事業の終了後にも継続していくためにはどうしたらいいかなど問題もあるようですが、地域コミュニティの希薄化が問題と化している昨今、こうした取り組みがコミュニティ復活の鍵となり、子どもたちが安心して暮らせる地域社会の実現に繋がるといいですね。

(領域担当 S.F.)



●9月10日(水)開催  
警察政策フォーラム「これからの性犯罪対策」  
(東京都千代田区 都市センターホテル) 参加レポート

PTAなど保護者、特にお母さん方と話をしていると、子どもの安全を脅かす犯罪の中でも、性犯罪に対する不安や対策の声が大きいと感じます。将来にわたって、心身ともに与える影響は計り知れません。

今回参加したフォーラムも、関心の高さを反映してか、会場は満員。研究者、警察の現場担当者、行政官、被害者支援団体の方々が登壇し、韓国と日本の対策の現状に関する報告と、今後の日本の性犯罪対策について議論がなされました。

近年の韓国が日本に比べてすごい！と感じた点は、動きが早いということ、また、諸外国の先進的な対策を導入し、進める中で改善していこうという点です。

韓国では、児童や女性に対する悪質な性犯罪が連続的に発生したことなどから、近年、刑罰の厳格化や、13歳未満の児童に対する性犯罪者に対して、出所後の位置追跡が可能な電子装置を装着させる制度の導入などが進められているようです。

また、被害者支援として、ONE-STOP支援センターを病院内に設置。ここでは、性犯罪被害者が、警察、病院、相談所などを回り、何度も供述をしないですむように、1箇所ですべての相談・支援が受けられるようになっていくとのこと。

ソウル市では、性犯罪被害児童の捜査時に、児童心理の専門家が参加して、被害児童の行動や供述を分析して捜査に活用する試みも行われているようです。

一方、日本については、警察関係者から性犯罪対策は最も遅れているものの一つと発言がなされるなど、対象的でした。

会場からは、なぜ日本にONE-STOP支援センターがないのか？といった質問も。もちろん、日本は、さまざまな意見がある中で慎重に対策を進めているとも言えます。韓国と日本は法体系が似ているということで、欧米に負けない韓国の先進的な事例を参考にしながら、今後の対策を期待したいものです。

(領域担当 N. A.)

---

## 2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

---

### 【更新情報】

#### ●国の取り組み

少年非行等の概要（平成20年上半期）（警察庁）

少年による犯罪、少年の犯罪被害等の統計が記されています。

[http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen38/syonenhikou\\_h20a.pdf](http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen38/syonenhikou_h20a.pdf)

「家族・地域のきずな」を深める先進的取組事例（内閣府）

防犯まちづくりも含め、さまざまな問題、地域の事例が紹介されています。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/cyousa/cyousa19/kazoku/index.html>

その他の取り組みについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

#### ●イベント情報

平成20年10月2日 世界ICTサミット2008（総務省・日本経済新聞社）

<http://www.ict-summit.jp/>

平成20年10月6日 エリアマネジメントシンポジウム2008（国土交通省）

[http://www.mlit.go.jp/report/press/land02\\_hh\\_000020.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/land02_hh_000020.html)

平成20年10月17日 日本犯罪社会学会 第5回公開シンポジウム

「ファミリー・バイオレンスにどう対応するか」

<http://hansha.daishodai.ac.jp/>

平成20年10月24日 学校安全推進フォーラム（文部科学省）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/gyouji/2008/08090507.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/2008/08090507.htm)

その他のイベントについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



### 【今月の見どころ】

今月の見どころは、トピックスから

#### 「プロジェクト実施者インタビュー 第1回」

平成19年度に採択された研究開発プロジェクト「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立」の実施者の方々へインタビューを行いました。大きなプロジェクトで関与者の方も多く、1回では紹介しきれませんので、2回に分けて紹介していきます。

今回は、その第1回として、科学警察研究所と(株)プレイスメイキング研究所へのインタビュー記事を掲載しています。皆さんの研究に対する思いは、インタビューしている側にもばっちり伝わってきました。

詳しい内容はこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/int01.pdf>

---

### 3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

---

#### 【今月のランキング】

- ☆1位 イベント情報  
<http://anzen-kodomo.jp//event/index.html>
- 2位 「犯罪からの子どもの安全」とは  
<http://anzen-kodomo.jp//profile/index.html>
- 3位 研究開発プログラム  
<http://anzen-kodomo.jp//program/index.html>

\*\*\*\*\*

#### 「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

- ▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら  
<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>
- ▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら  
[c-info@anzen-kodomo.jp](mailto:c-info@anzen-kodomo.jp)

■発行日 2008年9月24日

■発行元

(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>

\*\*\*\*\*